Kamagaya International Friendship Association

K·I·F·A Plaza

鎌ケ谷市国際交流協会広報誌

第77号

2013年（平成25年）３月29日
発行：鎌ケ谷市国際交流協会
〒273-0195 鎌ケ谷市新鎌ケ谷2-6-1
TEL 047-445-1141（内550）
FAX 047-441-9400
http://www.kifa.gr.jp

ロシア家庭料理の定番「ボルシチ」など3品

講師はヴォルゴグラード出身の渡邉イリナさん
エプロンは人気キャラ「チェブラーシカ」です

外国家庭料理講習会

＜ロシア版お袋の味＞ボルシチ――今年度の交流部会企画「外国家庭料理講習会」はロシアの家庭料理を取り上げました。①ロシア家庭料理の定番「ボルシチ」②友だちが集まると作るサラダ「ビニグレット」③ロシア版クレープ「ブリネ」――３品のレシピを用意しました。メーンの食材は高価な生ビーツを使いました。

講師はヴォルゴグラード（1925年から1961年まではスターリングラード）出身で、来日して９年になる渡邉イリナさんです。13年２月17日、会場の南部公民館調理室には鎌ヶ谷高校料理研究部の４人を含め、40人の参加者が集まりました。

イリナさんの一通りの説明のあと、ボルシチ作りが始まりました。

主になる食材はビーツです。ボルシチには欠かせないサトウダイコンに似た野菜で、輪切りにすると同心円状に赤い輪がありました。皮をむきスライス、豚肉、ニンジン、ジャガイモ、キャベツ、玉ネギなどと鍋でゆでます。イリナさんは調理台を回りながら助言します。

サラダのビニグレットにもビーツを使います。ジャガイモやサワークラフトなど混ぜ合わせます。赤い色どりのサラダです。デザートのブリネも出来上がったところで会食室でパーティの開始です(写真右)。カラーでないのが残念です。とても色どり豊かな料理になりました。

イリナさんからロシアのお料理のこと、広い国で、寒い暮らしなど話していただきました。また、仕事でヴォルゴグラードに滞在経験のある信夫稔交流部会長による

経験談や五輪開催地のソチ、ボルガ川、隕石落下のチェリャビンスクなど、ロシア情報と初めていただくロシアの家庭料理の話題でテーブルは盛り上がりました。

鎌ケ谷に響いた 時空を超えた中国悠久の調べ

ＫＩＦＡ研修部会企画による世界を知るコンサート「二胡と中国琵琶の演奏会」が2013年２月３日、市総合福祉保健センター６階ホールで開催されました。会場には250人に近い聴衆が来場しました。春風を呼ぶに相応しい悠久の調べに酔いました。

演奏会の奏者は卓越した演奏技法で、国際的に演奏活動を続ける二人。二胡の張勇（ちょう　ゆう）さん、中国琵琶の邵容（しゃお　ろん）さんです。

張勇（ちょう　ゆう）さん、琵琶の邵容（しゃお　ろん）さん

KIFA世界を知るコンサート

張さんは、中国内外で演奏活動を展開する二胡のソロ奏者。来日後はコンサートのほか、映画、ＴＶ、ＣＭ音楽、邦楽やジャズ、現代音楽との共演など、民族音楽の枠を超えた幅広いジャンルで活躍されています。ダイナミックかつ繊細な表現力と卓越した演奏技術には定評があります。

邵さんは、国立北京中央音楽学院卒、上海芸術祭で優秀芸術賞を受賞、東京芸術大学に留学。日本文化庁派遣により国連ホール他米国諸都市において、世界で唯一現存する正倉院宝物五弦琵琶を演奏。 国際派の中国琵琶奏者として注目されています。

中国の古典曲や日本の叙情曲など13曲

張さんと邵さんの共演プログラムが始まりました。

はじめに日本の懐かしい抒情歌の早春賦とおぼろ月。３曲目は草原情歌、これもよく知られた曲で、草原に生きる遊牧民族たちの恋歌、羊飼いの娘に対する感情が切なく表現されます。そして夜来香、よく聞く歌です。

次は中国の古典曲、琵琶の邵さんのソロ演奏で十面埋伏。漢の高祖劉邦と楚の覇王項羽の激しい情景を表した曲で、この楽器特有の技巧で繊細に表現されていました。ときには力強く、また哀切に、硬質な音が響き合い、奏者の華麗な雰囲気と相まって、素晴らしい技巧演奏に会場は酔いました。

今度は張さんの二胡のソロで空山鳥語。二胡の独特な音色と人の音声にも似た調べで、山中の静寂さと聞こえてくる小鳥のさえずりを技巧的に表現しました。会場に小鳥が飛んできたような錯覚を覚える調べでした。

続いて合奏で牧羊女、新疆ウイグル自治区の美しい景色や、少女の華麗な踊りを軽やかに見事に表現しました。その後はお馴染みの曲が続きました。蘇州夜曲、そして喜納昌吉作の沖縄の花、滝廉太郎の花と、二つの花が演奏されました。滝廉太郎の花に合わせて会場からも唱和する声が湧き上がっていました。邵さんも弾き終わって笑顔で応えているようでした。

最後はモンゴル民族の夏祭りの曲、賽馬です。男の子たちの勇敢な雄叫びや草原を走る馬のいななき、蹄の音を絶妙に表現した超絶技巧の演奏で、会場からはどよめきの声も上がりました。以上11曲、二胡と琵琶による中国悠久の調べを堪能しました。

聴衆からの大きなアンコールの声と拍手に応えて、二人は「何日君再来」「川の流れのように」の２曲を演奏しました。200人を超す来場者は、中国の歴史の中で愛され続けている民族の音に、自らの郷愁を重ねて聞き入った２時間でした。

聴き入る来場者

なお、前半の第一部では張勇さんの二胡教室門下生による生演奏が、張さんの指揮で９曲ほど演奏され、会場には二胡の合奏曲が響き渡っていました。**（写真上）**

セルビア、韓国、ロシア、アメリカ、中国 私のお国自慢

5カ国のゲスト招き 外国文化に親しむサロン

左からニコリッチ細中ネーナさん、キム　ヒョンジンさん、ベーレゾフスカヤ・ナタリアさん、トッド・クラブツリーさん、チェン　ヤミンさん。右は参加した市民の皆さん

５人のゲストに「お国自慢」を話していただき、ティータイム交歓会やディスカッションを楽しみました。研修部会企画の「外国文化に親しむサロン」は2013年１月20日、まなびぃプラザで30人を超す市民やボランティアが参加して開かれました。５人のゲスト全員が日本語で話しました。日本語の流暢さには感心させられました。

〈ゲストのスピーチの要旨〉

★「遊ぶ気持ちを大事にしている」――セルビア人の神田外語大学講師ニコリッチ細中ネーナさんは「自分の国がベストだと思っている。セルビアでは仕事がなくても前向きで、何がなくても大丈夫だという気持ちでいる。遊ぶ気持ちを大事にしていて、スポーツ施設は少なくても半端ではなく強い。オリンピックでバレーは金メダルを取っている。水球はプールが６箇所しかないが世界のトップにいる」とスポーツ大国を誇った。

国民性として「細かいことは気にしない。『文化の教え方』としては『いつも明るく考えはグローバルに』」とセルビア人気質を中心に話した。

★「年上の人をいたわる国」――日本留学の経験もある韓国人の金　亨鎖（キム　ヒョンジン）さんは「韓国では身内ばかりでなく、他人でも年寄りをとても大事にします。荷物は若者が持つのが当たり前で、若者が電車で座って寝ていたら年寄りに頭を叩かれる」と韓国では年上の人をいたわることが身に付いているという。

また子どもの教育について「とても熱心で、幼稚園から英語教育を行っているところもあり、進学率が高い」ということです。そして韓国では「同じ血族では結婚できない」自分の「姓」を絶やさない氏姓一族の血縁社会などを紹介した。

★「自慢は文学と音楽としたいが……」――ロシア人の翻訳家ベーレゾフスカヤ・ナタリアさんは、ロシアの民族衣装のエプロン姿で登場。ロシア人には料理上手が多いというお話で始まった。「ロシアは寒いので貯蔵の利く根菜類料理が多い。なかでも、ジャガイモ料理は多く100種類以上もある。家庭料理の中心はボルシチで、パンの食文化の国でパーティが多い」とした。

ロシアの自慢は文学と音楽と言いたいが、日本人の方が詳しく知っている。「チャイコフスキーは日本の文化になっている」みたいだとも。現代ロシア人は問題解決に熱意をなくしているとも言い、大国の悩みを紹介しました。

◆「わがケンタッキーの自然賛歌」――アメリカ人の語学学校講師トッド・クラブツリーさんは、出身のケンタッキー州の自慢話です。「何と言っても、森や山や湖などの自然が素晴らしい。そして釣り好きが多い。海がないので川釣りになる。釣れる魚は鯉が多い。またケンタッキーと言えばフライドチキン。バーボン・ウィスキーの名産地として知られている」と話した。

ケンタッキー出身の有名人として、第16代大統領のエイブラハム・リンカーン、ジョニー・デップ（俳優）、ジョージ・クルーニー（俳優）、モハメド・アリ（ボクサー）をあげた。

◆「老人とお嫁さんが幸せな国」――現在の国籍はカナダとなっているが中国人の成　雅敏（チェン　ヤミン）さんは「中国の老人は定年退職後年金をもらっているので、のんびりと過ごし、緑の豊かな所や公園に集まっては、太極拳やダンスを楽しんでいる。賑やかなのが好きで良く集まり話している」としました。

また「日本のお嫁さんは良く働くが、中国人の嫁は大事にされ家事はあまりしない。中国の男性は料理も洗濯もする。奥さんを大事にし、子どもを大事にする。中国人の嫁は幸せ。結婚するなら中国人の男性が良いですよ」アピールしました。

◆日本のいいところ「武士道精神」
◆日本への要望「グローバル精神」

基調スピーチの次は20分間のティータイム交流会。そこここで話しが弾んでいる。

最後は全員が輪に座ってのディスカッション。

「日本の良い所はどこですか」とゲストに訊ねた。

武士道精神があるところ、でも今は少し崩れているようで残念。要望としてはグローバルな視野を持ってほしい。初めて日本へ着いたとき全部良いと思った。平和なところ。昔の神社仏閣が残っているところなどでした。

参加者の中から「この様な楽しくて、真の意味で異文化交流に相応しい会に、皆もっと参加すべきですね」という声が聞かれた。

英語クラスの発表会

中国語クラスの発表会

左からハングルの金英美（キム　ヨンミ）先生、中国語の胡丁毅（フー　ディンイ）先生、英語のFrances Mejias（フランシス　メヒアス）先生

ハングルクラスの発表会

2012年度語学研修講座合同閉講式、成果発表会

中国語、ハングル―― 好評だったレベル別クラス

学ぶ楽しさに触れ仲間に感謝――2012年度の研修部会・語学研修講座合同閉講式と最終授業となる学習成果発表会が、13年２月３日（日）総合福祉保健センター大会議室において行われました。はじめに長南勇会長からはなむけの言葉が贈られました。続いて藤井明恵研修部会長からは、今年度は一部レベル別クラス編成にしたことついて、受講生の感想を聞きたいと述べ、新年度の講座編成への協力を求めました。

今年度の修了者は英語22人、中国語入門12人、初級14人、ハングル入門16人、初級16人でした。3人の先生に各講座の代表者が感謝の花束を贈呈。続いて長南会長から皆勤者16人に記念品が手渡されました。

＊３人の先生のメッセージ

２年間クラスを担当された英語のフランシス・メヒアス先生は「とてもいい経験になり、毎回の授業がとても楽しみでした。受講生から得ることも多くありました」と話された。

今年度は入門と初級の２クラスを担当された中国語の胡　丁毅（フー　ディンイ）先生は「当初は時間が少し短くなり心配でしたが、結果的にはかえって効率よく教えられた気がします」と評価されました。

同じく入門と初級のクラスを担当したハングルの金英美（キム　ヨンミ）先生は、「入門者には発音やハングル表記をていねいに教えられ、初級者には応用文を進められました」と好評価でした。

＊３講座成果発表会

＜英語＞紙芝居「かぐや姫」。手作りの紙芝居を１枚１枚めくりながら受講生一人ひとりが英語でナレーション。そして歌「花は何処へ行ったの」を合唱。

＜ハングル＞入門、初級クラス合同で合唱　「なごり雪」のハングル版、韓国童謡「コムセマリ」を振り付きで。最後は韓国演歌「ムジョコン」無条件と言う意味であなたのためなら太平洋、大西洋、インド洋を渡っても駆け付けるという情熱的な恋の歌。

＜中国語＞入門、初級クラス合同で「北国の春」の中国語版を会場と合唱。次は中国語講座お馴染みの漢字クイズです。受講生が発音した四字熟語の日本語訳を選ぶ二択問題で、正解多数上位者には賞品が出ました。

鎌ケ谷市国際交流協会　2013年度　語学研修講座計画（予定）

講座名	テキスト	講　師	曜日・時間	期　間	会　場
英　語	Side by Side 3	Derek Smith	水曜日・13：00～14：30	5/22～1/29	中央公民館
中国語Ⅰ入門	驚くほど身につく中国語	胡　丁毅（Fu Dingyi）	火曜日・９：30～10：40	5/28～2/4	鎌ケ谷市図書館
中国語Ⅱ初級	中国語会話 301（上）	胡　丁毅（Fu Dingy）	火曜日・10：50～12：00	5/28～2/4	鎌ケ谷市図書館
ハングルⅠ入門	話そう韓国語	金　秀妍（Kim Suyon）	金曜日・９：20～10：30	5/24～1/31	南部公民館
ハングルⅡ初級	韓国語レッスン	金　秀妍（Kim Suyon）	金曜日・10：40～11：50	5/24～1/31	南部公民館

＊回数 各講座ともに開・閉講式を含め30回　　＊合同開講式は５月19日（日）（初回講座及びオリエンテーション）
＊募集要項など詳細は後日、市の広報誌４月15日号に掲載します。ＫＩＦＡホームページもご覧下さい。

「歌とダンスで国際交流」 2012年度 KIFAパーティ

歌を聴く会場の皆さん

韓国ブース

休憩タイムで交流の模様

鎌ケ谷市国際交流協会（ＫＩＦＡ）の最大イベント「2012年　ＫＩＦＡパーティ」が12月２日（日）、「歌とダンスで国際交流」をテーマに、総合福祉保健センター６階ホールで開かれました。

司会は小山田ジェンマさん（フィリピン出身）とＫＩＦＡ役員の川端正征さんです。長南勇会長による主催者のあいさつに続いて、公務で出席できなかった清水聖士市長の祝辞が、司会者から紹介されました。引き続いて来賓祝辞として土屋祐彦市議会議長から「市議会としても、ＫＩＦＡのみなさんが活動しやすい環境整備に重点をおいています」と、25周年を迎えたＫＩＦＡへ今後の期待を込めたメッセージをいただきました。

ウクレレとフラダンス

ジャズ演奏

パーティの構成は部会活動紹介のブースと舞台での歌とダンス

◆韓国語ブース　韓国のコーン茶、柚子茶、ザクロ茶など美肌、風邪予防、老化防止などの効用を説明して、お茶とスナックのサービス。韓国歴史年表で韓流ドラマの解説をしていました。

◆中国語ブース　中国語講座の受講生による二胡の演奏。ブースを訪れた人たちに二胡演奏を指導、外国人、小学生が二胡の演奏にチャレンジしていました。

◆青少年委員会・スマイリーキッズ　パソコンを使ったスマイリーキッズ特製英語ゲームが人気になっていました。子どもから中学生までが挑戦していました。

◆ＫＩＦＡ（三役）ブース　1988年の創立以来の活動の軌跡や組織など掲示し、さまざまなＫＩＦＡ活動をアピールしました。

◆日本語教室　世界のあいさつ言葉を例示し語学学習の楽しさもアピール。また学習用のテキスト、音読用テキストを置いたところ興味を示す来場者もいました。

◆広報委員会　情報発信基地をテーマに、広報誌「KIFAPlaza」の最新号の拡大紙面を掲示。さらに、ホームページのフロント、外国人向けページやアクセスの紹介など、掲示したボードに関心が集まっていました。

◆舞台アトラクション　初めはジャズバンド演奏です。ピアノ・秦野萌さん、ベース・秦野格さん、ドラムス・石川周太さん、ジャズボーカリスト・桃井まりさんによるテネシーワルツの英語原曲、日本語バージョン、「星に願いを」などクリスマスソングが、軽快なジャズのリズムにのって会場を包みます。

続いてスマイリーキッズ（子ども英会話教室）の児童らが習ってきた英語の歌を披露してくれました。次はハワイアンバンド・ウィズ・フラダンス「レイ・ピカケ」によるウクレレ演奏とフラダンスの競演になりました。

一時休憩、交流タイムでは用意されたお菓子と飲み物を手に交流の輪ができています。ブースの前にも親子を中心にゲームや韓国茶、中国茶の試飲する人、淹れる人の交流シーンも見られます。

アトラクションが再開されました。最後は歌声喫茶です。交流部会の石関博康さんのピアノ伴奏、松本やす子さんの歌謡指導で、プログラムと一緒に配られた歌詞カードを見ながら、会場は「ふるさと」「サンタルチア」「今日の日はさようなら」など歌声が一杯に広がってフィナーレとなりました。

子ども英会話教室　2012年度閉講式

スマイリーキッズ（子ども英会話講座）の2012年度閉講式が13年２月２日（土）、「まなびぃプラザ」の会場に、受講生、保護者らが出席して行われました。講師のクリス・ミルズ先生から一人ずつ修了証が手渡されました。

修了証授与の後、動物版山手線ゲームで英語の学習です。全員が３グループに分かれ、ミルズ先生が示す絵カードの動物の名前を素早く英語で答え、次の人に順番をまわし、時間内にできるだけ多くの人に順番をまわし答えることができたチームが勝ちです。

ゲームの後は、受講生から先生へ質問しながらのティータイム。受講生からミルズ先生に幾つかの質問が寄せられました。身長と体重の質問場面では、先生から「日本では身長～cm、体重～kgで表すけれど、先生の国ではfeetとpoundで表すんだよ」と、国によって単位も違うことを学びました。

全員集合して記念写真

クリス先生からは「みなさん、英語の勉強をよく頑張り上達しました。これからも英語の勉強を続けて下さいね。今年1年間ありがとうございました」と、感謝とアドバイスの言葉が伝えられました。

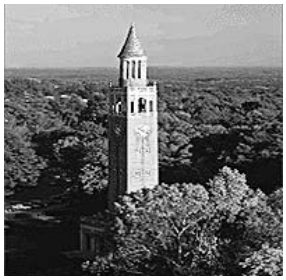
クリス　ミルズさん

（Christopher L.Mills）

＊トレードマークはドレッドロックスです

クリス・ミルズ（Christopher L.Mills）さんは、鎌ケ谷市内小学校の英語教師（ＡＬＴ）として、2011年の８月に赴任しました。現在は鎌ケ谷市の３校の小学生を相手に、英語教師として毎日楽しく授業したり遊んだりしています。ＫＩＦＡではスマイリーキッズ（こども英会話教室）で子供たちに楽しく英語を教えています。

米州ノースカロライナの中央部に位置する大学の町・チャペルヒルから来ました。



Dreadlocks（ドレッドロックス）という、独特のヘアスタイルが印象的ですが、とても温厚で勤勉、真面目な人柄です。ヘアサロンで３時間ぐらいかけて髪を捻り、この髪型にしてもらうそうです。高校生の頃からそうしているという。

＊合気道発祥の地・日本に憧れて

私はアメリカのメリーランド州で生まれ、父の転勤に伴って６歳のとき、ノースカロライナ州に移り住みました。ノースカロライナ州でも、アペックス→フーキーバリナ→チャペルヒルと３回引っ越し、転校しました。

大学へ入学するまで何回も引っ越しをしたので、とくに小学校での印象に残る思い出はあまりありません。

日本の中学生に当たる時代はサッカーをしていました。

中学・高校時代は大人気のレクリエーションセンターでもあった、YMCAでテコンドーもしていました。そして高校のとき、JETプログラム（編注：The Japan Exchange and Teaching Programme・日本政府主催の大規模な国際交流事業）の案内を見て、テコンドーと同じ護身術である、合気道発祥の地・日本へ行こうと思いました。JETではまず学位が必要でした。小さいときは、獣医になりたいと思っていましたが、日本で英語の教員になることに決めました。

＊マンガと怪談で日本語学習

大学では日本語と経済学を勉強しました。

日本との出会いは中学生の頃のテレビゲームです。「犬夜叉」というアニメも見ました。平仮名は高校生のとき本で覚えました。大学の日本語の授業では、漫画本を一冊日本語に訳す授業や怪談についての授業、日本の映画鑑賞など興味深い授業が多かったです。

怪談は「四谷怪談」ともう一つ名前は忘れましたが勉強しました。映画は「砂の女」や「ゴジラ」など見ました。大学生のとき、日本の神田外語大学へ２か月留学しました。千葉県佐倉市の家庭にホームスティしました。日本へ来たとき、日本人のブランド品へのこだわりやファッションにはびっくりしました。

家族は退職した父、それに若いころ保育士でしたが私たち兄弟が生まれてからは主婦に専念し最近、学校の補助教諭としてパートで働いている母と、IT企業に勤める兄がいます。

チャペルヒル（Chapel Hill、ノースカロライナ州中央部の町）は大学を中心に発達した大学町です。

身近にレベルの高い大学があったのです。私の卒業したUniversity of North Carolina at Chapel HillまたはUNC：ノースカロライナ大学。編注：アメリカに現存する州立大学の中では最古の大学）のキャンパス内に昔は、小さな教会の礼拝堂が立っていた丘であったことから「チャペルヒル」という町の名前が付けられました。また私の大学そのものが観光スポットにもなっています。（写真右上の２枚）

＊トレンドな通りフランクリン・ストリート

チャペルヒルには、高い評価を受けている大学が３つあり、有名なスポーツ選手も多く輩出しています。町のメインストリートとなるフランクリン・ストリートは、ベンジャミン・フランクリン（凧の実験で雷が電気であることを明らかにしたことで知られている）にちなんで命名されました。（写真上）

アカデミックな雰囲気と温暖な気候で、チャペルヒルはとても住み易いところです。

＊有名なアパラチア山脈があります

ノースカロライナ州にはチャペルヒルから車で３～４時間のBoone（ブーン）という町に、長さ2,600kmとカナダにまで達する有名なアパラチア山脈があります。とても寒い所で、冬はスキーやスノボーができます。

多文化共生社会推進下におけるKIFAの現状と課題

1．多文化共生とは

市の説明によれば、多文化共生とは「海外出身者や国籍の異なる人々がお互いの文化的な違いを尊重しあい、地域の一員として暮らすことの出来る状態」とあります。このような状態を作り出すことによって地域における多様な生活者の社会参加や、他の文化を認め合う共生の意識が広がり、生活上のルールの共有や日頃から助け合える環境が築かれていくことが期待されます。

もともと「多文化共生」という考え方は平成18年に国（総務省）が打ち出したもので、日本の環境変化（外国人数の増加など）に伴い、外国人を生活者、地域住民として捉えていく必要があると判断したためです。1980年代後半から地方自治体を中心に「国際交流」や「国際協力」を柱とした取り組みがなされてきましたが、上記の環境変化を踏まえ「多文化共生」を第３の柱として地域国際化の一環として進めようというものです。

2．鎌ケ谷市における多文化共生促進の取り組み状況

当市においては総合基本計画（かまがやしレインボープラン21）の中に「世界と結びつく国際化の促進」が施策として掲げられ、その分野別計画として「鎌ケ谷市多文化共生推進計画」（平成21年２月）が策定されております。計画期間は平成21年度から26年度までの６年間です。このなかに、「体制の整備」として「市民や市民団体との協働」「多文化共生のための拠点の整備」が掲げられております

当協会に対しては平成23年４月に市から「鎌ケ谷市の国際交流団体の連携のあり方（案）」として「鎌ケ谷市国際交流団体連絡協議会（仮称）」の設置、活動の拠点として「多文化共生センター（仮称）」を設置する旨の提示がありました。さらに同年10月に「市の国際業務についての考え方」が示され、今後、国際業務については３分類して考える、すなわち、

①行政必須、最優先の事業
②行政選択、優先順位は普通
③民間主導事業――に分類する、というものです。

その後、平成24年９月に「多文化共生連絡協議会設立準備会」が設立され、平成25年２月までに６回の会議が行われました。

3．多文化共生連絡協議会設立準備会での検討経緯

準備会は多文化共生センター（仮称）の目指す姿と、その運営方法、国際交流補助金について検討を行う目的で、市により設立されました。

準備会構成メンバーは市（企画財政課）およびし市内で国際業務を実施している団体の中から市が選定した団体です。具体的には鎌ケ谷市国際交流協会（ＫＩＦＡ）、鎌ケ谷国際文化交流会（アイスク）、日本語さくら会、子どもワールドクラブ、鎌ケ谷日本語サークル、の５団体で、各団体から２人が出席しています。

毎回、市から要請のあった資料の作成やその発表、話し合いをしております。今まで話し合った課題は「多文化共生社会の状況について」（団体の活動から見た鎌ケ谷市の多文化共生社会の状況と他市の状況）、「センターの具体像について」（どんなセンターにしたいか、めざす姿）、「未来」（活動をサポートする国際交流補助金のあり方。今後の鎌ケ谷市の国際化のあり方。皆さんが出来ること）、などです。

4．ＫＩＦＡにおける取組状況および課題

1）取り組みの経緯

市から提出された多文化共生推進計画を受け平成24年４月に「多文化共生推進計画下でのＫＩＦＡのありかた検討委員会」を立ち上げ、その後数回委員会を開催しましたが、議論百出状態で、今日まで新体制についての成案を得るに至っておりません。最近（平成25年１月下旬）になって、市より人件費補助金の削減につき具体的な提示がありましたので、３月以降については、25年度中に多文化共生社会推進体制に対応した体制を整えるべく鋭意検討していく予定をしております。

2）ＫＩＦＡとしての課題

市が多文化共生を進めるに当って、ＫＩＦＡに関連する事項としては大きく分けて４つあります。
すなわち、

①多文化共生センターおよび多文化共生連絡協議会の設置
②国際業務の分類と行政としての優先順位付け
③事業別の予算配分
④自立化――であります。

①～③については、上記の通り連絡協議会設立準備会のなかで話し合い、検討が行なわれておりますが、④の自立化に関してはＫＩＦＡが他の団体と大きく異なる状況があります。ＫＩＦＡは、団体の立ち上げ経緯（市主導による設立）、及びその後の行政における国際化推進の方針を具体化すべく、行政と一体となった事業展開に取り組んで参りましたが、この度の「多文化共生社会推進に伴い、ＫＩＦＡの自立化を求める」との行政の提示を受け、ＫＩＦＡの新しい体制（行政との役割分担の明確化、独自性の確保、収益事業の展開など）を模索して行くことが、喫緊の課題と考えます。（平成25年２月28日）　以上

本稿は、市の進める外国人居住者対策「多文化共生社会」づくりに関わる施策、それに伴うＫＩＦＡの取り組みについて、折衝の任に当たっている会長及び三役から会員の方々への現状報告です。　広報委員会

「にほんご講座」は多文化共生の出発点

日本語をマスターして友だちをつくろう!

創設21年のＫＩＦＡ「にほん語講座」はこれまで、英語教師や公務員、主婦、学生など多くの在住外国人が通い、日本語を身に付けて市民との交流の深化や仕事力向上、学力アップのスキルになっています。また指導にあたってきた日本語ボランティアたちもノウハウの蓄積、指導法のブラッシュアップ、研修など質的向上を図ってきました。ＫＩＦＡ「にほんご講座」の実績は、市の推進する「多文化共生」に貢献できる中心的事業にもなっています。

学習者は初心者、初級Ⅰ、初級Ⅱ、中級以上などグループに分かれ熱心に学習しています。日本語を会得することはもちろん、日本語検定受験（JLPT）など目的意識を持った受講生も多く、活気に溢れた授業が展開されています。初めての方も安心して楽しく学べます。日本語講座では常時、受講生の受付を行っています。日本語を学習したい外国人をご存知の方はぜひご連絡下さい。

＊詳細など問合せ＝ＫＩＦＡ事務局

電話・047-445-1141（内550、９時～16時、火曜休み）
または中央公民館３階の会場へ直接お出で下さい。
（水曜日のよる７時20分～８時50分）

＊2013年度の授業計画は次の通りです。

学習内容：初級・中級・中上級・上級JLPT受験にも対応

１期	４月10日～７月10日	水曜日（Wed.）	12回
２期	９月11日～12月４日	水曜日（Wed.）	12回
３期	12月３日～３月19日	水曜日（Wed.）	12回

KIFA Japanese（Nihongo）Classes

Kamagaya International Friendship Association（KIFA）offers foreign residents who live or work in Kamagaya City Japanese lessons at relatively low fees.

Beginners are welcome. You will learn about the life in Japan through the lessons and also have the chance to make a lot of friends.

Levels：Beginner Ⅰ & Ⅱ, Intermediate, Semi-Advanced and Advanced

Class Size：Small groups（The classes are divided into small groups based on your level.）

Venue：Chuo Kominkan（near Hatsutomi Station）3rd Floor

These classes are organized by KIFA volunteer staff. If you know someone who want to learn Japanese but don't know how, please bring them with you.

日本語ボランティア養成講座を終えて新たな10人のメンバーが加わりました

Ⅰ期、Ⅱ期を通して20回分の養成講座、教室見学会と実習を終えた2012年度の受講生の意欲は高く、その熱意と努力に押された研修部会員のサポートを得て、４回の自主的勉強会を行い、とても実りある養成講座となりました。そしてＫＩＦＡの日本語ボランティアに心強い新たな10人のメンバーが加わりました。

2013年度定期総会のお知らせ

鎌ケ谷市国際交流会（ＫＩＦＡ）の2013年度の定期総会を５月19日（日）、市総合福祉保健センター６階で開催します。
会員の皆さんの参加をお願いいたします。

ぜひ、気軽にボランティア通訳の活用を

通訳ボランティアミーティングが2013年１月19日に行われました。登録者35人のうち８人が参加して、情報・意見交換などがなされました。登録者の内訳は英語23人、中国語９人、ハングル３人、スペイン語３人、ポルトガル語１人、ポーランド語１人、フランス語１人です。（2013年１月現在）

冒頭に長南勇会長より、平成26年度竣工予定の（仮称）鎌ケ谷市文化センター内に、行政の多文化共生センターが設置される予定、行政としては災害時の通訳を依頼したいと考えているようだと伝えられました。その後、今年度活動実績の報告、意見交換などが行われました。活動に携わったボランティアから、楽しく活動できましたとの声もありました。

編集後記

2012年度最後のKIFA Plazaをお届けします。編集に当たっては載せきれないほどの情報量でした。創設25年経っても衰えないＫＩＦＡの活力と進化を感じています。広報事業は会員の支えがあってこそ活かされるものです。最前線で骨身を削って寄与されたボランティアの皆さんのイベント記録を、存分にお伝えできなかったことを反省しています。

市の推進する「多文化共生」とＫＩＦＡが長年活動してきた「国際交流の諸活動」とどのような違いがあるのだろうか。日本人と外国人が対等に交流することを目指し、25年間継続してきたＫＩＦＡ事業こそ、真の意味での多文化共生の活動ではないのだろうか。新年度もまた新たな活動への発展と発見に期待しています。（K.F）

鎌ケ谷市国際交流協会事務局　〒273-0195　鎌ケ谷市新鎌ケ谷2-6-1　TEL445-1141（内550）　平日9:00～16:00　FAX441-9400　メールkifa@apricot. ocn. ne. jp